

「自然と音楽」演奏会シリーズ
Nature and Music Vol.3「妖精の踊り」
Elfentanz

ベートーヴェン交響曲シリーズ第一弾！

本日ロビーにてチケット先行発売中！

2014年2月21日(金)
東京築地 浜離宮朝日ホール 19時開演メンデルスゾーン：真夏の夜の夢(全曲)
ベートーヴェン：交響曲第二番二長調作品36
(語り) 波多野睦美

※やむを得ず曲目を変更する場合がございます

AfiA アフィア事務局

Tel:080-3347-8118 / Fax:045-512-8506
ticket@afia.info / http://afia.info満月に寄す。
Mondnacht...次の100年、
人間には
何ができるのか。

出光

〈協賛〉

企業ご芳名(敬称略)
出光興産株式会社
株式会社ファンケル
K 山中コンサルティンググループ

オーケストラ・アフィア 第2回演奏会

「自然と音楽」演奏会シリーズ
Nature and Music vol.2指揮：村中大祐
Conductor: Daisuke Muranakaオーケストラ・アフィア
Orchestra AfiA

村中大祐 指揮 オーケストラ・アフィア 第3回演奏会

「自然と音楽」演奏会シリーズ
Nature and Music Vol.3「妖精の踊り」
Elfentanz

ベートーヴェン交響曲シリーズ第一弾！

2014年2月21日(金)
東京築地 浜離宮朝日ホール 19時開演メンデルスゾーン：真夏の夜の夢(全曲)
ベートーヴェン：交響曲第二番二長調作品36
(語り) 波多野睦美※やむを得ず曲目を変更する場合がございます
AfiA アフィア事務局
Tel:080-3347-8118 / Fax:045-512-8506
ticket@afia.info / http://afia.info満月に寄す。
Mondnacht...

本日ロビーにてチケット先行発売中！

次の100年、
人間には
何ができるのか。

出光

〈協賛〉

企業ご芳名(敬称略)
出光興産株式会社
株式会社ファンケル
K 山中コンサルティンググループ

オーケストラ・アフィア 第2回演奏会

「自然と音楽」演奏会シリーズ
Nature and Music vol.2指揮：村中大祐
Conductor: Daisuke Muranakaオーケストラ・アフィア
Orchestra AfiA

Introduction

「浄められた夜」

ふたりの男女は寂れた寒い森をさまよっていた。
それを月が追うように照らし出すと、ふたりは月に見入るのだった。

月は聳え立つ檜の木の、更にその上を行きながら
雲一つない空に燦然と輝いている。
この月光に翳りがもたらされると
女の声が語り始めた。

私は身ごもっています。でもあなたの子ではありません。
あなたという人がありながら、私は罪を犯したのです。
私は許されないことをしてしまったのです。
かつての私は幸福などというものとは縁がありませんでした。
でも一つだけかなえたい希望がありました。
女としての生きる意味とでもいいでしょうか、母親になることでした。
そしてその責任を求めたのです。私は大胆に振る舞いました。
こともあろうに私は色目を使って
見も知らぬ男の腕に抱かれたのです。
そのお蔭で子を授かりました。
でも今や私は人生の報復を受けています。
今私はあなたに、あなたという人に出会ってしまったのです。

彼女は足取りも重く
そして空を見上げた。すると月がともに歩んでいるではないか。
彼女の暗い眼差しに、月の光が注ぎ込んだその時
男の声が語り始めた。

その子は、君が迎え入れた命なら
君が心を煩わす理由がどこにあるだろうか。
ほら、ご覧。この世のすべてが燦然と光り輝くさまを！
ここにあるすべてのものをあまねく照らし出す神々しさだ。
君は確かにこの僕と、冷たい海を旅しているのだろう。
でもそこには微かな温もりが感じられる。
君から僕へ、僕から君へと、この温もりは伝わって
この温もりこそが、この胎児を光り輝かせるだろう。
この子はまさに僕の子として君に授かったものだ。
君は僕に輝きをもたらしてくれた。
君は僕自身を子供の純粹さで満たしてくれたのだ。

彼は彼女の腰を強く抱き
ふたりの吐息は接吻のなかで空へと舞い上がる。
ふたりは空高く透き通った夜のしじまを歩き続けるのだった。

Richard Dehmel リヒャルト・デーメル (1863～1920)
(Weib und Welt 「女と世界」 1896年作より) (訳：村中大祐)

Program

プログラムに寄せて

本日は『自然と音楽』シリーズ第二弾「満月に寄す」によるこそお運びくださいました。今日お聴きいただく3曲は、いずれも三人の大作曲家が若い頃に描き出した傑作です。モーツァルトとメンデルスゾーンはいずれも16歳、そしてシェーンベルクは25歳の時に書き下ろした作品を演奏いたします。

モーツァルト (1756～1791)：嬉遊曲 二長調 K.136

W.A.Mozart : Divertimento in D KV 136 (125a)

第1楽章 アレグロ 二長調 / 第2楽章 アンダンテ ト長調 / 第3楽章 プレスト 二長調

この作品は1772年、当時16歳のモーツァルトが作曲した弦楽四重奏のためのディヴェルティメントで、ザルツブルクで作曲されたことからザルツブルク・シンフォニーとも呼ばれています。モーツァルトはその生涯で3度イタリア紀行をいたしますが、この曲は2回目のイタリア紀行

を終えた彼が、ザルツブルクで作曲。16歳とは思えない精緻な作品は、「楽しみ」というディヴェルティメントの意味合いを遥かに超えた名作と言えるでしょう。

シェーンベルク (1874～1951)：浄められた夜 作品4 (1943年版)

A. Schönberg : Verklärte Nacht Op.4 (Revision 1943)

20代のシェーンベルクは当時独学で作曲を学んでいましたが、その彼が唯一師事したと言えるのが、友人で3歳年上のアレクサンダー・フォン・ツェムリンスキー (1871～1942) です。ツェムリンスキーに頼まれて歌劇「サレーマ」のピアノ伴奏譜編曲を手伝うため、避暑地パイエルバッハに赴いた際、当時読みふけていたのがデーメルの詩集「女と世界」でした。後に自分の妻となるツェムリンスキーの妹、マチルダと出会うのもこのときのことです。こうして1899年25歳の時、わずか3週間で完成したのが「浄められた夜」です。彼は当時ブラームスの信奉者でしたが、ツェムリンスキーがワーグナーの崇拜者でもあったことからワーグナーに傾倒していきます。この作品のなかにはワーグナーの歌劇「トリスタンとイゾルデ」に用いられる半音階の手法がふんだんに盛り込まれて、言いようのない不安や感情の高まりを表現しています。

メンデルスゾーン (1809～1847)：弦楽八重奏曲 変ホ長調 作品20

F. Mendelssohn Bartholdy : Oktett Es-dur Op.20

第一楽章：アレグロ・モデラート / 第二楽章：アンダンテ / 第三楽章：スケルツォ / 第四楽章：プレスト

魂をメフィストフェレスに売り渡した「ファウスト」は、素朴な少女グレートヒエンと出会い恋に落ちます。たった一度の逢瀬でグレートヒエンは身籠るのですが、その子を苦しめた彼女は沼に沈めて殺してしまいます。罪に問われた彼女は牢獄にいましたが、ファウストはそれを知らず、ワルブルギスの夜に集まってきた妖精や魔女たちのなかでグレートヒエンに危機がせまっていることを知るので。グレートヒエンが処刑される前、ゲーテが「ファウスト」の第一幕クライマックスへの短い間奏として、「ワルブルギスの夜の夢」という場面を挟み込んでいます。この場面の最後をメンデルスゾーンが第三楽章スケルツォで描いたのだと、フェリックスの姉ファニーが語っていることは有名です。登場人物は、シェイクスピアの「真夏の夜の夢」のパックやオベロン、ティターニア、そして「テンペスト」のアリエルなどです。そこに交じって「ヴァイオリン弾き」や「宮廷楽師長」、「オーケストラ」

シェーンベルクは「浄められた夜」について、「当時詩人としての代表格はデーメルの他にホフマンスタールがいた。音楽ではブラームスの死後、R・シュトラウスが詩や文学を音にして所謂“プログラム音楽”の先頭に立っていた。『浄められた夜』もデーメルの詩を表現したことでは、間違いなく同じプログラム音楽だが、この作品が室内楽であることと、“自然を描写”し、“人間の感情”を表現したことが明らかな相違点だ。」と語っています。「浄められた夜」は、交響詩ではない室内楽の世界に、文学的な要素を持ち込んだ最初の作品と言えます。シェーンベルク自身が語るこの「違い」を是非ともお聴きください。今回は1899年に完成された弦楽六重奏曲「浄められた夜」を、1943年にシェーンベルク自らが弦楽合奏用に編曲した版を使って演奏いたします。演奏時間は約30分、切れ目なく演奏されます。

(ハエや蚊、カエルにコロロギが音楽家なのです!) が語り出します。ここでは妖精の王オベロンと女王ティターニアの金婚式をお祝いする想定になっています。妖精たちの他に、そこには夫婦や旅行者、ギリシャ正教者、芸術家、ピューリタン、魔女、刀研、楽師長、リアリスト、踊り子、舞踏教師、ハーピスト、観念論者、実在論者、超自然主義者、懐疑主義者、鬼火、流星、如才ない人などが登場した後、パックとアリエルが再度登場し、風の精アリエルが「自然と霊性がお前たち(虫)に翼を与えてくれている。風に乗ってパラの丘へいざゆかん!」という声をかけたとたん「(ピアノシモで) 雲が動き霧が流れて、空が澄み渡った。木の葉は風に舞い、風が葎の葉を揺らして、そこには何もいなくなった。」2～3枚の木の葉が舞った後には、饗宴の後は何も残らなかったのです。そんな妖精たちの魔法のような仕業に感じ入った16歳の天才のなせる業を、是非お聴きください。

Profile

指揮者

村中大祐

Daisuke MURANAKA

村中大祐は近年「横浜オペラ未来プロジェクト」を横浜開港150周年のために成功させ、また横浜 OMP オーケストラを創設して脚光を浴びた。

東京外国語大学ドイツ語学科を卒業後、ウィーン国立音楽大学で指揮を学び、トーティ・ダル・モンテ国際オペラコンクール指揮部門「ボッテガ」と第1回マリオ・グゼッラ国際指揮者コンクールで、いずれも第1位を獲得。

フルトヴェングラーの高弟 Peter Maag (ペーター・マーク) のアシスタントとして研鑽を積んだ後、ウィーンを拠点に、これまでヨーロッパ内外の数多くの歌劇場やオーケストラを指揮してきた。

1995年、急病の師ペーター・マークに代わって、公演初日2時間前に急遽抜擢され、モーツァルトの歌劇「魔笛」を指揮した鮮烈なイタリア・オペラ界へのデビューの後、ヴェネチア・フェニーチェ歌劇場やパレルモ・テアトロ・マッシモ、新国立劇場、スイス・ザンクトガレン・オペラ・フェスティバルや英国グランドボーンオペラなどに登場している。

1999年からはNHK交響楽団をはじめとする国内主要オーケストラに招かれ、これまでに第11回出光音楽賞(2001年)、第19回ヨコハマ遊大賞(2007年)三菱東京UFJ芸術文化財団音楽賞(2009年)など受賞している。

2011年から『自然と音楽』のテーマをライフワークに世界各国で演奏を繰り返し広げ、同年5月には同テーマで伊シチリア交響楽団を指揮し、東日本大震災の追悼コンサートを行っている。

日本国内では本年7月よりオーケストラ・アフィア(AfiA)を創設し、『自然と音楽』シリーズにて一連の演奏会を開始。今回行われる第2回は、「満月に寄す」が副題。16歳のメンデルスゾーンがゲーテの「ファウスト」から「ワルプルギスの夜の夢」に音楽を付けた弦楽八重奏がプログラムの中心となる。また伊勢神宮、出雲大社の遷宮を祝う意味で、鶴岡八幡宮の神嘗祭に合わせ、同社「若宮」にて奉納演奏を行う。これは『自然と音楽』シリーズを通じて実現させるべき一大プロジェクトであり、東日本大震災への奉仕活動を積極的に行っておられる鶴岡八幡宮の協力により実現した。

2013年11月には英国ロンドン・カドガンホールにてイギリス室内管弦楽団との『自然と音楽』シリーズが始まる。ソリストにはユーリ・バシュメットを招き、東京と同じくシェーンベルクの「浄められた夜」、ベンジャミン・ブリテンの「イリュミナシオン」を演奏する。また2014年は同じくカドガン・ホールでベートーヴェンの「田園」などを演奏予定。

これまでにテレビ朝日系列「題名のない音楽会」、日本テレビ系列「深夜のコンサート」やNHKFM、NHKBS、NHK教育テレビ、TOKYO FM、FMヨコハマ、TVKなどメディアにも多数出演。現在、FM横浜「THE BREEZE」(毎月最終週火曜朝11時〜)ドルチェ・カンタービレにミュージック・コンシェルジュ「音のソムリエ」として出演中。クラシック音楽についてざっくばらんにいろいろな角度から紹介している。



©Tetsuro Goto 後藤鐵郎

オフィシャルサイト：<http://muranplanet.com>

Profile

コンサートマスター

ロベルト・バルルディ

Roberto Baraldi

8歳でミラノ「ヴェルディ国立音楽院」にてヴァイオリンを始める。学生時代より数々のコンクールで頭角を現し、18歳で審査員満場一致でディプロマを取得。89年北ドイツ「シュレスビル・ホルシュタイン音楽祭」に招かれ、90年から92年までヨーロッパ連合ユースオーケストラの一員として、パースタイン、ジュリーニ、ゲルギエフ、ロストロポーヴィチやアシュケナーズといった巨匠たちの薫陶を受ける。その後、イタリアの音楽大学院として有名な「フィエーゾレ音楽院」で研鑽を積む。

また、ミラノの「Pomeriggi Musicali オーケストラ」のリーダーの経験を経て、3年に亘り、有名なヴェローナ野外オペラフェスティバル「アレナ・ディ・ヴェローナ」のコンサートマスターに抜擢。97年からは、ヴェネチアのフェニーチェ歌劇場オーケストラのコンサートマスターに就任、現在に至る。これまでに同歌劇場の演奏会ソリストとしても数多く出演し、好評を得ている。録音もソリストとして、また室内楽奏者としてもNuova Era、Tactus、Naxosなどのレーベルから数多く発売されている。使用楽器は、1850年製J・B・Vuillaume(ヴィヨーム)。



オーケストラ・アフィア首席奏者

ヴァイオリン

能登谷安紀子 Akiko NOTOYA

東京藝術大学音楽学部ヴァイオリン専攻卒業。同大学院修了。ソロ、室内楽、オーケストラ演奏の他、弦楽アンサンブルや合唱指導、作曲活動等、幅広く活動を行っている。

チェロ

上森祥平 Shohei UWAMORI

日本音楽コンクール第1位入賞。ベルリン芸術大学卒業。ドイツ国家演奏家資格を取得。'08年より毎年パッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を開催。京都市芸術文化特別奨励者、及び京都府文化賞奨励賞受賞。東京藝術大学非常勤講師。

ヴィオラ

叶澤尚子 Naoko KANOZAWA

福島県出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部門卒業。2005年ヴィオラに転向。第三回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門第1位。サイトウキネン・オーケストラ、小澤征爾音楽塾、サイトウキネン若い人のための室内楽勉強会、PMFなどに参加。また、2008年にカルテットゼーレのメンバーとして地域創造主催公共ホール活性化アウトリーチフォーラム事業に参加。現在も同カルテットにおいて各地でアウトリーチ活動を行っている。名古屋フィルハーモニー交響楽団団員。

コントラバス

稲川永示 Eiji INAGAWA

岐阜県大垣市出身。桐朋学園付属高等学校を経て桐朋学園大学を卒業。西田直文、溝入敬三各氏に師事。現代音楽の為の五重奏団『輪彩』メンバー。芸術集団『パベルの塔』を窪田翔氏と共に立ち上げる。現在NHK交響楽団団員。

Profile

オーケストラ・アフィア奏者

ヴァイオリン

玄津 舞 Mai GENTSU

武蔵野音楽大学首席卒業。在学中、同大学管弦楽団コンサートマスターを務める。現在、フリー奏者として室内楽、オーケストラを中心に活動中。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

東京藝術大学音楽学部卒業。2001年より横浜パロック室内合奏団団員。現在プロオーケストラやミュージカル、J-POP のライブなどでも活動中。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

瀬堀玲美 Remi SEBORI

桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学を経て研究科修了。サイトウキネン室内楽勉強会、オペラプロジェクト参加。演奏家として活躍中。東工大管弦楽団の指導にあたる。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

竹政大介 Daisuke TAKEMASA

愛媛県出身。洗足学園音楽大学音楽学部卒業。同大学大学院修了。全四国音楽コンクールにおいて、第32回最優秀賞受賞。第33回、第35回優秀賞受賞。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

濱田彰子 Shoko HAMADA

洗足学園音楽大学、同大学院修士課程器楽専攻を首席で卒業。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団団員、静岡県立沼津西高等学校芸術科非常勤講師。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

ヴィオラ

川田留生 Rui KAWATA

東京音楽大学、東京音楽大学院研究科卒業。大学入学と同時にヴィオラに転向。レガシイヴァイオリンコンクールアンサンブル部門第3位。埼玉新聞社賞受賞。第7回日本演奏家コンクール入選。ソロ、室内楽の他、各オーケストラのエキストラとしても活躍している。小野耕之補、兎束俊之、大野かおるの各氏に師事。

芝田愛子 Aiko SHIBATA

東京藝術大学、ウィーン国立音楽大学卒業。チューリッヒ歌劇場管弦楽団、ウィーン放送交響楽団などで契約団員として活動。現在フリーの演奏家として活動中。

神保聡子 Satoko JINBO（ヴァイオリンⅣ首席奏者）

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。清水高師氏に師事。モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニアと共演。米国 SMU メドゥズ音楽院卒業。E・シュミダー氏に師事。コンチェルトコンペティションに優勝し、メドゥズシンフォニーオーケストラと共演。

大藤康祐 Kosuke DAITO

横浜生まれ。昭和音楽大学卒業、専攻科修了。ザルトツブルク・モーツァルテウム音楽院でイーゴリ・オイストラフに学ぶ。清水高師、川上久雄の諸氏に師事。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

舘村 結 Yui TATEMURA

国立音楽大学卒業。国立音楽大学アドヴァンスト管弦楽コース修了。第八回日本演奏家コンクール弦楽器部門入選。徳永二男、三浦章宏、荒井雅至の各氏に師事。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

早川元菜 Haruna HAYAKAWA

国立音楽大学附属音楽高等学校を経て、国立音楽大学を卒業。同大学卒業演奏会、読売新聞社主催・新人演奏会に出演。第2回ドイツ音楽コンクールにて最高位。また、国内コンクールにて入賞。欧州にて選抜によるオーケストラアカデミーおよびツアーに参加。北垣紀子、大関博明、徳永二男、漆原啓子の各氏に師事。現在、室内楽、オーケストラを中心に演奏活動を行う傍ら、後進の指導も行っている。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

高橋 奨 Susumu TAKAHASH

東京音楽大学卒業、洗足学園音楽大学大学院修了。ヴィオラを兎束俊之、百武由紀、岡田伸夫、井野邊大輔の各氏に師事。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団ヴィオラ奏者。

ヴィオラ

七澤達哉 Tatsuya NANASAWA（ヴィオラⅡ首席奏者）

東京藝術大学音楽学部卒業。第12回大阪国際音楽コンクール アンサンブル部門第1位。神戸市長賞受賞。カルテット N 等のヴィオラ奏者として、室内楽のコンサートで活躍中。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、SKF 等に参加。これまでにヴィオラを川本嘉子氏、川崎和憲氏、市坪俊彦氏に師事。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

渡辺靖子 Yasuko WATANABE（チェロⅡ首席奏者）

新潟市出身。新潟大学教育学部特音課程卒業、同大学院修士課程修了。英国王立ノーザン音楽院大学院修了。トリオ・アルティカメンバー。舘野英司、菅野博文、E・フェランド、A・テイトの各氏に師事。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

飯島哲蔵 Tetsuzo IJIMA

4歳よりチェロを始める。これまでにチェロを中島克久、前田善彦、河野文昭、上森祥平、山崎伸子の各氏に師事。現在、東京藝術大学3年に在学中。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

コントラバス

松井理史 Yoshifumi MATSUI

千葉県出身。9歳よりコントラバスを始める。桐朋学園大学卒業。同研究科、桐朋オーケストラアカデミーを修了。特定非営利活動法人ハマのJACKメンバー。永島義男、西田直文、白土文雄の各氏に師事。

Profile

森山千春 Chiharu MORIYAMA

東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業。桐朋オーケストラ・アカデミー修了。現在フリーのヴィオラ奏者として演奏活動を行う。アンサンブル・ロカ、東京シンフォニア、各メンバー。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

小泉ユミ Yumi KOIZUMI

桐朋学園大学音楽学部卒業。オランダ、ズヴォーレ音楽院およびメシアンアカデミー修了。チェリスト兼声楽家。ファンデーク音楽院主宰。

志摩かなえ Kanae SHIMA（ヴァイオリンⅢ首席奏者）

Nature and Music

『自然と音楽』シリーズは、2011年の東日本大震災後に生まれたプロジェクトである。自然の猛威を感じながらも、自然との共生を続けていくために、われわれ音楽家がどのようなメッセージを発信したらよいかを考え、募金活動という形ではなく、実際に湘南国際村でおこなわれている「植樹」や、東北で防波林を作るプロジェクトなどに演奏会から得られた利益を還元していくことを考えた。音楽の成立過程のなかで、音楽が「自然」を表現し始めたことから、「音のなかに自然を感じ、自然と向き合う」ことを目的に、このテーマが作られた。